

銅板腐食試験

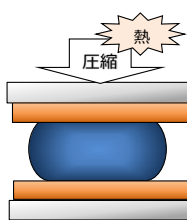
ゴムは見た目だけでは材質もよし悪しの判断もつきません。
メーカーカタログ上ではJISに基づいた試験を行い、一定の物性基準を満たしてはおります。
しかし、ゴムが接する相手部品に与える影響は、個別に確認する必要があります。

そこで、今回はゴムの『**銅板腐食試験**』を行いました













銅板腐食試験＝ ギュムは物性を確保するために、さまざまな原料を配合しております。

その中に含まれる配合剤成分がゴムの接触する相手材を腐食することがある為、
短時間で反応する銅板を接触させることで腐食度合いの比較を行う試験。

相手材を腐食すると、相手材がそこから割れたり、腐食が広がって動作不良につながります。

試験サンプル	Oリング JIS B 2401 P-14 (内径13.8×線径2.4)	
圧縮率	25%	Oリング断面 
温度・時間	120℃ 8h	

<試験結果>

材質/メーカー	NOK社	A社	B社	C社
ニトリルゴム 70°				
ニトリルゴム 90°				
エチレンプロピレンゴム 70°				

NOK品は腐食度合いが低い

色が濃いほど腐食度合いが高い

比較評価の後にお客様に提案できる事が、弊社の強みです。
安心できる材料の選定にあたっては、是非弊社にご相談下さい！